

採択理由

プログラム名：先端融合領域イノベーション創出拠点の形成

課題名： コ・モビリティ社会の創成

代表者名： 安西 祐一郎

所属機関名： 慶應義塾大学

コメント

大学の総力をあげた意欲的な研究テーマといえる。新しい視点、分野の創生ともに、融合という視点から新規性が認められる。交通、通信、エネルギー、環境、教育など社会の多様な局面にわたり、情報の面でゆるやかに結合した複数サブテーマを掲げ、融合的イノベーションを促す設定となっていることが評価できる。理工学と人文社会学的アプローチを融合することで、イノベーション創成を実現するユニークな拠点形成として期待できる。新しい技術に留まらずコ・モビリティ科学という新規学術分野を提案している。計画は具体的であり、企業の役割も明確である。研究構想、体制作り、協働機関との関係などは良く準備されている。

しかしコミュニティ科学、モビリティ科学、人間調和科学などは、これから科学の実体を作り上げる必要があり、イノベーションとの繋がり是不透明である。また、ここで構想されているコ・モビリティ社会の姿に社会的共感が得られるかも疑問である。これらの点を明確にして進めていただきたい。

研究範囲が広範におよんでおり、学長のリーダーシップに基づいたメリハリのある資金配賦により効果的に拠点を運営していただきたい。また、目標が多岐にわたっており、達成されるイノベーションのイメージが明確とはいえない。3、7、10年の達成ビジョンを、より具体化して進めて欲しい。個々の要素技術の寄せ集めにならないようシステム化に注力していただきたい。